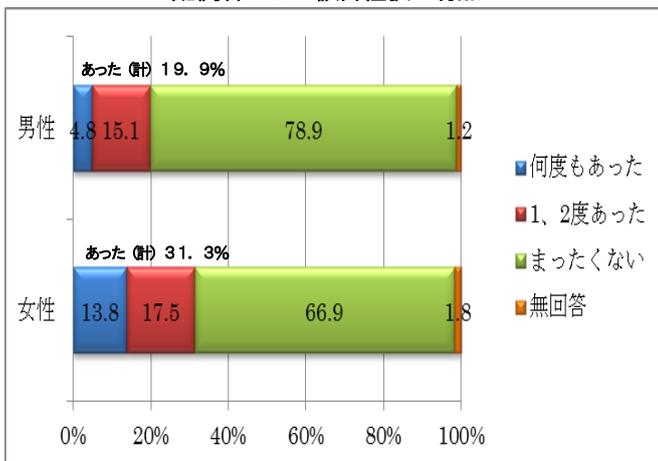




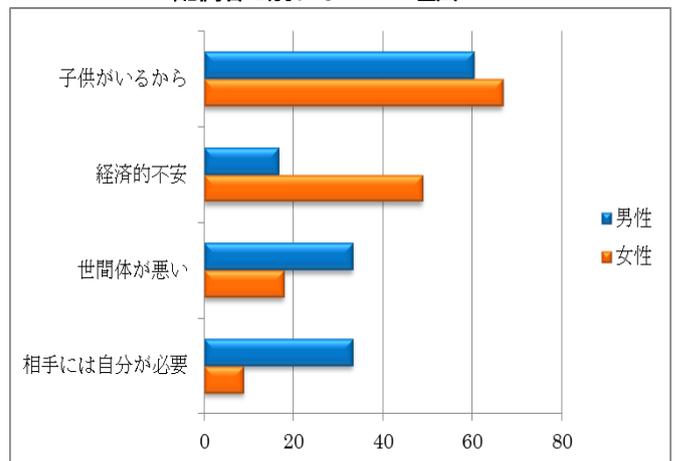
■身近に起こるDV

ドメスティック・バイオレンス（DV）とは、夫婦や恋人など親密な関係にあるパートナーから受ける暴力をいい、男性から女性だけでなく、女性から男性の場合もあります。しかし、内閣府が実施した「男女間における暴力に関する調査」によると、DVにあたる行為を配偶者からうけたことのある人の多くは女性であることがわかります。この背景には、「男は仕事女は家庭」「妻は夫に従うもの」とした固定的な役割分担意識や社会風潮なども関係しているといわれています。また配偶者と別れなかった理由として、「経済的不安」での女性の割合が高くなっています。女性は経済的に自立することが難しい状況にあり、さらに家庭内でのトラブルを外部に知られるのは恥とされてきたため被害を潜在化させてきたのです。

配偶者からの被害経験の有無



配偶者と別れなかった理由



資料：内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査（平成29年度）」より

■DVとは身体的な暴力だけではありません。

DVは様々なかたちでの暴力があり、これらの暴力が単独で起きる場合や重なって起きる場合があります。DVの加害者の多くは所有意識が強く相手を支配下に置いておきたいという願望があり、自分の身の回りの状況や相手の態度や行動が自分の思い通りにならないストレスを暴力によって発散するのです。

経済的暴力

生活費を渡さない
お金の使い方を細かく
チェックする
外で働かせない

身体的暴力

殴る、蹴る
物を投げつける
突き飛ばす
あざができるほどつかむ

精神的暴力

大声で怒鳴る、ののしる、
殴るふりをして脅す
人格を否定するような暴言
交友関係を細かく監視

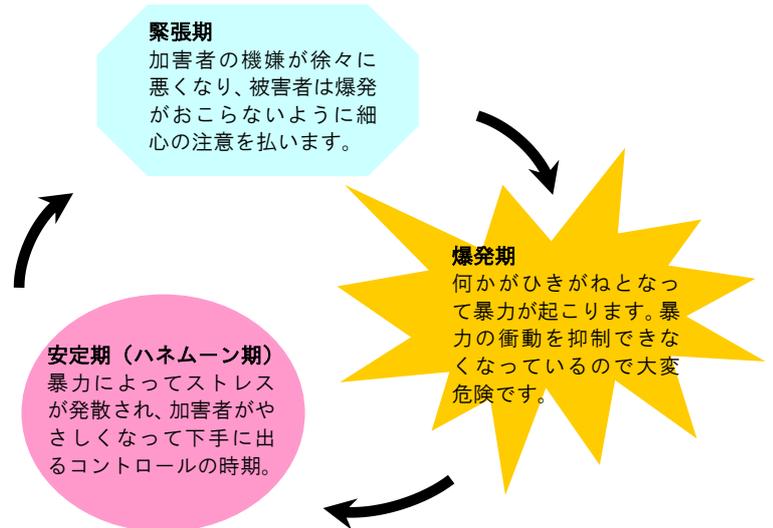
性的暴力

避妊に協力しない
性行為の強要



■被害者の心理をコントロール

DVには、一定のサイクルがあります。被害者は暴力への恐怖という精神的な興奮状態と、安定している時の優しさによる精神的な安定状態が交互にやってくる事により、精神的な依存の状態が発生しやすくなります。また、暴力への恐怖や逃げる事のできない状態により、次第に「自分が耐えればいいんだ」「何をやっても駄目だ」という無力感にとらわれてしまい、暴力からの脱出をあきらめてしまう様になります。



■デートDV

デートDVとは、交際している相手との間に起こる暴力のことを指し、比較的若い世代の間で起こっていることから、通常のDVと分けて表現されるようになりました。スマートフォンの普及により、SNS上での被害を受けることも多くなってきました。

付き合っているんだから、自分の言うことを聞いてほしいし、いつも優先してほしい。連絡はすぐに返すこと、あと他の異性とは連絡は取らないこと。僕のことが好きならできるよね。



いつも監視されているみたいで、なんかイヤだな。でも彼のことは好きだし、私のことを想ってくれているから…。私が少しだけ我慢すれば、いつも笑顔で楽しく過ごせるし。

愛知県女性相談センター（祝日、年末年始は休み）

- ・女性悩みごと相談 052-962-2527
月～金 9:00～21:00 土～日 9:00～16:00
- ・弁護士による 052-962-2528
DV専門電話相談 月 14:00～15:30

愛知県女性相談センター海部駐在室（土、日、祝日、年末年始は休み）

- ・女性悩みごと相談 0567-24-2134
月～金 9:00～17:00

あま市役所甚目寺庁舎 子育て支援課（土、日、祝日、年末年始は休み）

- 女性相談 052-444-3173
月～金 9:00～16:00

